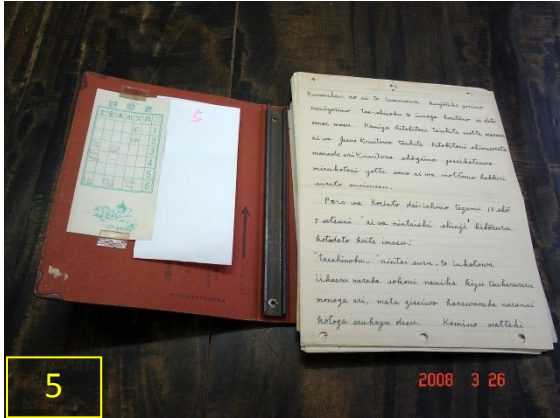
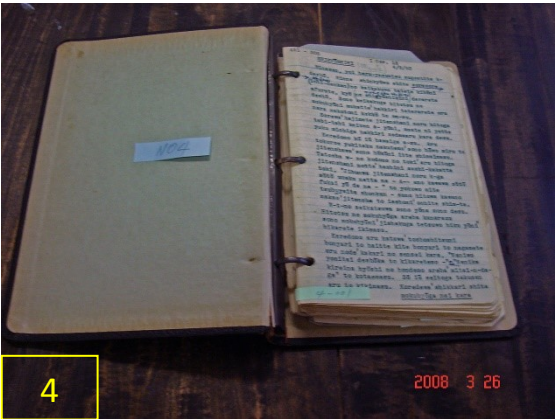
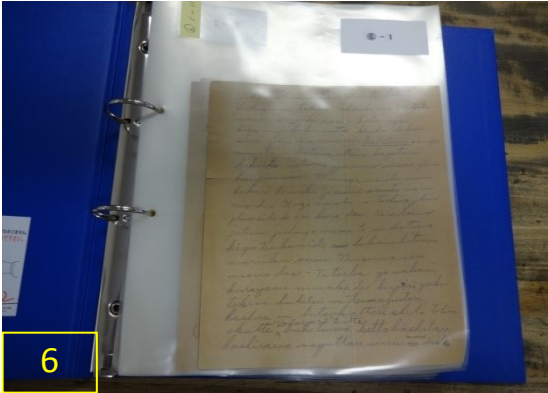
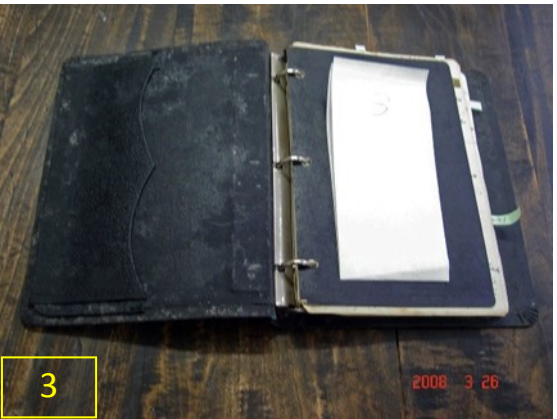
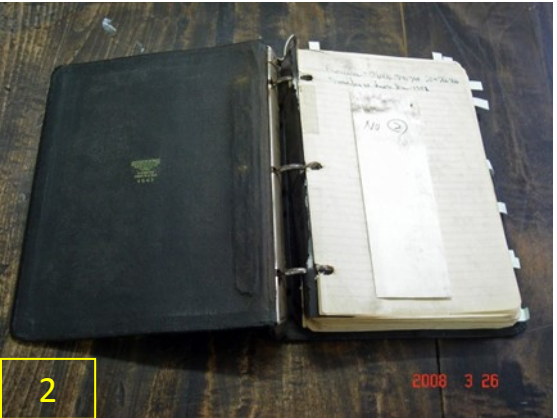
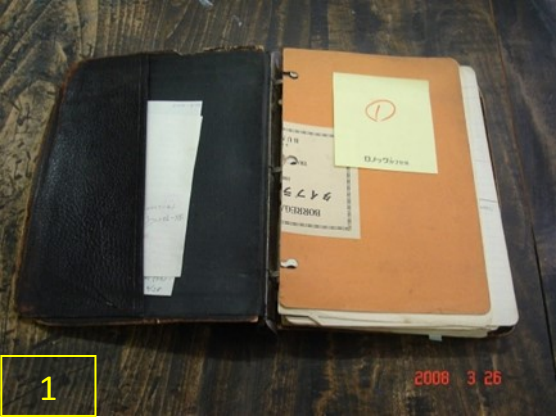


Gillett's Notes



はじめに

松山東雲中学・高等学校の第6代校長 **C.S.Gillett(1894~1961)** は、礼拝や折々のトークをA5版(3穴)の6冊のファイルノートに、タイピングや手書きで残していた。本書はそれらをデジタル保存すべく作成したものである。

これらのノートには欠落した部分もあり、ページが飛んでいたり、内容が途中で切れていたり、途中から始まっているものもあった。中にはファイルが破損していたものもあった。編集委員会のもとにあった6冊分のノートをすべてスキャンし、ワープロ入力し、さらに漢字仮名交じり文に変換した。原文に忠実をモットーに漢字仮名交じり文にしたので、日本語としては十分でないところはあがるが、それはジレット語としてご理解をいただきたい。

ジレット編集委員会は、2002年12月に活動を始め、6冊分のノートの中から選んだ55編を「タイプライターは語る」として2003年9月に出版した。その後、ノートの散逸を防ぎたい、保存したい、多くの人に知ってもらいたいと願い、全6冊のデータ化を開始した。

「タイプライターは語る」は、読み物として編集したので、原文と多少表現の異なる部分があるのもやむを得ないことであった。しかし本書は「原文に忠実に」を第一に作業をした。

C.S.Gillett はタイプ打ちした文を何回も声に出して読んで、周りの人におかしいところはないかと尋ねたと聞いている。さらに強調したいところ、息継ぎをしたいところには手書きでマークを入れ、頻度の高い言葉は略号を使ってありと随所に苦勞のあとが見える。病気をされ、半身不随になってからは、タイピングはアシスタントの方がされていたということである。口述筆記の部分もあった。また**C.S.Gillett** が使用していたタイプライターは、今も「みつばハウス」に保存されているが、ノートの中にはタイプライターの字体が異なる個所もあり、口述筆記したアシスタントが他のタイプライターでタイピングしたものかと思われる。

作業中、原文を読んでいて、**C.S.Gillett** 先生の話す声が何度も耳によみがえってきて、学生時代を懐かしく思い出すこともしばしばであった。

予定よりも完成が遅れたのは残念なことであったが、作業が完了したということだけでほっとしている。

松山東雲学園の戦後の復興を成し遂げた **C.S.Gillett** の信仰者としての人となりを探り知ることのできるノートだと思っている。

伊神 美和子

Gillett's Notes 目次(1~6)

Gillett's Note 1 1934~1937(仙台時代)

1. メモ	1	25. S.S.祈り	151
2. Song Book	3	26. 日曜学校	153
3. Awaji・YM Bldg.	5	27. 公衆の祈り	155
4. Aoyagi Camp	7	28. 復活祭・日曜学校	159
5. Aoyagi Marin Bldg.	9	29. 秋の歌	169
6. 学校の朝拝	11	30. 恵み深き父よ	181
7. クリスマス・喜び	13	31. I hate to be a kicker	183
8. クリスマスの挨拶	23	32. 祈り	185
9. 新しい世界観とキリスト教	25	33. 父上よ	187
10. 誓約式	43	34. 宇宙を続べたもう神	189
11. 食前の感謝	49	35. 愛の神よ	191
12. 試みに遭わせず	55	36. 兄弟たちよ	193
13. 聖餐式	66	37. 聖餐式-#3	195
14. 聖餐式#3	67	38. #2聖餐式	199
15. 聖餐式-ぶどう酒の文 #2	73	39. 聖書-祈り	203
16. 聖餐式-ぶどう酒の文 #1	75	40. 聖餐式-ぶどう酒の文 #4	205
17. 神の国と神の義とを求めよ	83	41. 聖餐式 #1-4・祝祷	206
18. 愛を加えよ(新しき戒め)	89	42. #1聖餐式	207
19. 三つのたとえ	97	43. イエスが渡されたもう	209
20. 神とともに(なる要求)	103	44. 祈り	213
21. 神様の賜物	119	45. おゝ火よ	217
22. 尋ねよ、さらば見出さん(実行)	121		
23. 実行の伴わない宗教生活	135		
24. 犬と帽子	145		

Gillett's Note 2 1950. 7～1953

1. メモ(Prayer・年末の祈り).....	1	26. 開校式(64).....	63	52. ダンス発表会.....	122
2. 修学旅行.....	3	27. 狭い門.....	65	53. 卒業式の訓示.....	123
3. メモ(慣用語).....	5	28. イエスの友.....	66	54. 卒業式の訓示.....	127
4. けれども自分自身が.....	7	29. 人を避けて.....	67	55. 終業式.....	133
5. Vocabulary.....	9	30. 主とともに進み行く.....	69	56. 悪に勝つ・二つの譬え.....	135
6. 送別.....	11	31. 落成式・家政館.....	71	57. 感謝して.....	147
7. 来賓者の挨拶・卒業式.....	14	32. 感謝状.....	73	58. 体育館落成・献堂式.....	149
8. 終業式.....	15	33. いくつしみ深き友.....	75	59. 伊予みかん.....	153
9. 始業式.....	17	34. パットとマイク・菓.....	77	60. 神を愛すべし.....	155
10. 中学校入学式の挨拶.....	19	35. 礼拝.....	79	61. 夜中ごろ・・・賛美する.....	157
11. 生徒課.....	21	36. 定礎式.....	81	62. 自由でない.....	159
12. 汝ら互いに重きを負え.....	23	37. ホイテの話.....	83	63. 命を捨てる.....	160
13. 人を裁くな.....	25	38. 終業式.....	87	64. 生活の中心.....	161
14. 定礎式.....	29	39. 中学校.....	88	65. Prayer.....	162
15. PTA定礎式.....	31	40. 中学校の父兄会.....	89	66. 終業式.....	163
16. 聖書/祈り.....	33	41. 職員会.....	91	67. 男女間の交際.....	169
17. 洞穴にむかって.....	34	42. 始業式.....	95	68. 始業式.....	175
18. 生徒会の発会式.....	37	43. メモ(生命のパン・気落ちせず).....	99	69. チャペル礼拝.....	177
19. 戸の外に立ちて.....	39	44. 生命のパン.....	101	70. 合同礼拝 65 記念日.....	179
20. アセンブリー・夏.....	43	45. 気落ちせず.....	104	71. 式辞 65 周年記念日.....	181
21. 朝拝.....	47	46. 祈禱 - 高等学校.....	107	72. 縄をなう.....	183
22. 終業式.....	51	47. 「コルバン」責任を果たす.....	109	73. 伝統週間 早天祈禱会.....	185
23. 始業式.....	55	48. 認証式.....	112	74. 礼拝 目の見えない人が.....	187
24. 自動滑車機.....	59	49. 決心して.....	113	75. 見える目.....	191
25. 三本の矢.....	61	50. 礼拝.....	117	76. 見えることは.....	195
		51. 危機の準備.....	119	77. 罪を赦す.....	199

78. いい人になる	201	104. カレッジ入学式	277	130. 終業式	337
79. 砂から真珠	203	105. 心を変えて(1)	281	131. 第3学期始業式	341
80. 祈り(いい人になる)(砂から真珠)	205	106. 大人に成長(1)	285	132. 自分の力でなくて	343
81. 祈り(1)	207	107. 大人に成長(2)	289	133. 我は・希望と夢	345
82. 祈り(2)	209	108. クリスマン生活は「輪」であります	291	134. お祈り	347
83. 小学校校長	213	109. 落成式	295	135. 新しい世界	349
84. 心構え(1)	219	110. 道なり	297	136. 感情の無駄使い	351
85. 心構え(2)	221	111. 冒険の生活	299	137. 落ち着きは	353
86. 愛の生活	225	112. 経験によって	303	138. 卒業式	355
87. 2学期終業式	227	113. 2学期始業式	305	139. 本阿彌の終りのご挨拶	359
88. 年末の祈り	231	114. 信仰	307	140. 終業式	361
89. 第3学期始業式	233	115. 創立記念日	309		
90. 開堂式・モーアチャペル	235	116. PTA総会	310		
91. 卒業式	237	117. 創立記念日	311		
92. 主の祈り(1)	241	118. 種をまく	313		
93. 主の祈り(2)	243	119. イエス-神の手	315		
94. 主の祈り(3)	245	120. 生活の反応	317		
95. 終業式	247	121. 我生くるにあらず	319		
96. 主の祈り	249	122. 自慢しない	321		
97. 主の祈り(4)	253	123. バザーの感謝	323		
98. 主の祈り(5)	257	124. 花子さん	325		
99. 主の祈り(6)	265	125. 良子	327		
100. 木に登るとき	267	126. 愛は生活の掟なり	329		
101. 始業式	269	127. 主の祈り	331		
102. 高等学校入学式/中学校入学式	273	128. 洗礼を受けたとき	333		
103. 中学校	275	129. 力が与えられてくる	335		

Gillett's Note 3 1952. 2～1961. 3

1. 認証式	1	26. 終業式	93
2. メモ	2	27. 果物を食べてはいけないと	99
3. ジャドソン・城南	3	28. 自分の重荷・収容力	105
4. すすはきと新年	5	29. 更迭式(二宮)	111
5. 始業式(3)	9	30. 宗教	117
6. よき成人とは?	11		
7. 旗ざおに旗を揚げて	15		
8. 求めよ	17		
9. I PLUS YOU	19		
10. 職員会・第2学期	21		
11. 始業式	25		
12. (73)創立記念日にあたり	31		
13. Faculty Conf	37		
14. 詩篇139	40		
15. December	41		
16. 終業式	45		
17. 始業式(1日の勤め)	53		
18. 方法と結果	57		
19. 卒業式	61		
20. 入学式にあたり	67		
21. 見えない力	73		
22. 終業式	75		
23. 始業式	79		
24. メモ	85		
25. 創立74周年記念日にあたって	87		

Gillett's Note 4 1953. 4～

1. 始業式(目当て).....	1	26. 実行によって.....	65	52. 神の愛について.....	195
2. 高等学校入学式.....	3	27. 絶えず祈る.....	69	53. 二つの道.....	199
3. ひとつのことをする.....	5	28. これを行え、されば(いくべし).....	73	54. 鉛筆の話.....	203
4. カレッジ入学式.....	7	29. 卒業式.....	79	55. 中学校.....	206
5. 神を信ずるのは弱い.....	9	30. ともし火の式.....	83	56. 創立記念日.....	207
6. 同窓会40年・挨拶.....	11	31. 高等学校入学式.....	85	57. 71周年創立記念日.....	213
7. 寄宿舎の式辞.....	13	32. 校門の言葉.....	97	58. 職員の聖書・学生祈祷日.....	215
8. 息を吸ったり出したり.....	15	33. そして大人になるに従い.....	101	59. 宗教と倫理.....	225
9. 神のうちに生き.....	17	34. 職員会.....	105	60. メモ.....	231
10. 罪を赦す・リンカーン.....	19	35. 始業式.....	111	61. 決心について.....	233
11. 終業式.....	21	36. 70 th 記念.....	115	62. 卒業式.....	237
12. 就任式・城南.....	23	37. COMMUNITY SPIRIT.....	119	63. ネズミ.....	239
13. 始業式.....	25	38. 就職について.....	125	64. AS JESUS SAID(卒業式).....	243
14. 創立67周年.....	29	39. 新しい世界.....	129	65. 愛と意志.....	247
15. ビタミンのたとえ.....	31	40. クリスマスの喜び.....	135	66. 汝もし・・・知り.....	251
16. 時間を使うこと.....	35	41. チームワーク.....	139	67. 静かな瞑想のとき.....	255
17. 岡部・原WEDDING.....	37	42. 職員聖書研究会.....	143	68. 本当の態度.....	259
18. 現在の神.....	39	43. 信仰の力.....	145	69. 夏休みを迎えるにあたり.....	263
19. 神様.....	43	44. 信仰.....	153	70. 創立72周年記念日.....	267
20. 早天祈祷会.....	47	45. 高等卒業式.....	159	71. 創立記念日.....	271
21. 終業式.....	49	46. 70周年・落成式.....	169	72. 主に従うこと.....	277
22. 使徒信条と我らの生活.....	53	47. 始業式.....	179	73. Follow Me !.....	281
23. 聖書/信条と我らの生活.....	57	48. 入学式.....	181		
24. 始業式.....	59	49. BY THEIR FRUITS.....	185		
25. 早天祈祷会.....	63	50. 主よ、主よ.....	189		
		51. 祈祷・教会.....	193		

Gillett's Note 5 順不同

1. クリスチャンの愛というものは.....	1
2. わたしは世の光である.....	13
3. 聖書研究会	19
4. 今日はこれから聖書の.....	29
5. マタイ伝11章28節以下	43
6. あらわれることをご期待に.....	49
7. さよなら	53
8. 道はひとつ	57
9. 心を変えて(2).....	63
10. 入学式	65
11. 終業式	71
12. お医者さんと呼んで.....	75
13. 新しい力	79
14. 始業式(世界中が臭い).....	83
15. ちょうどこの人のように.....	87
16. 中 卒業式	89
17. 私どもは、神様はいつも.....	91
18. PTA.....	95
19. 校外指導	99
20. 私学	100
21. みつばハウス	101
22. 新しい力	103
23. 校長先生への問	107
24. メモ	108

Gillett's Note 6 その他

1. よく経験なさるように…………… 1
2. 新しい世界観とキリスト教…………… 46
3. 種の福音(おのずから)…………… 113
4. それには日曜学校を…………… 153
5. 新しい世界…………… 183
6. EXPERIMENTS IN GROUP ACTIVITIES…………… 189
7. 祈り…………… 213

凡 例

- 本書は、ローマ字書きのジレットノートをもとに構成されている。
- 各ページの左半分に原文のスキャン画像を、右ページの上半分に原文をワープロによる機械うちにしたもの、下半分に漢字仮名交じり文(日本字文)に置き換えたものである。
- 日本字文の表記について
 - ◇ 表題のない場合は、書き出しを表題とした。
聖書・讃美歌の表記は、原文当時のものを使用した。
表題は**Bold(太字)**を使用した。
日本字文は漢字仮名交じり文とし、原文が日本語でない個所は、原文のままとした。
 - ◇ 表題のページ
1行目：聖書箇所・讃美歌No.、行末にページNo.
2行目：表題、(サブ表題)、日付、(サブ日付)
3行目：1行あける
4行目以降：本文
 - ◇ 表題の次ページ以降
1行目：ページNo.(行末)
2行目：1行あける
3行目以降：本文
 - ◇ 原文が白紙のページについては、文の容量を明確にするという意味でページNo.(日本字文の右肩に表記)を振っていない。
 - ◇ 蛍光ペンの詳細

引用聖書・讃美歌：青の蛍光ペン
主の祈り：緑色の蛍光ペン
疑問用語：黄の蛍光ペン
不審事項(原文の喪失など)：赤の蛍光ペン
編集委員会で記入した部分：グレイの蛍光ペン

- 原文の表記について
 - ◇ 手書きの改行マークと思われるものには、「¶」(ラテン1補助)を当てた。
 - ◇ ローマ字表記中、長音の上部に手書きで加筆されているものには、下記のもの(ラテン語拡張A)をローマ字長音に代用した。

Ā	ā		
Ī	ī		
Ū	Ū	ū	ů
Ě	ě		
Ō	Ŏ	ō	ö

- ◇ 手書きによる加筆は原則として斜体文字とし、青色を使用した。朱による加筆は赤色を使用した。
- ◇ 原文作者による、強調のため、あるいは息継ぎマークと思われる記号には「'」 etc.を当てた。
- ◇ 段落(行頭)は、読みやすくするため、4字分のスペースをあけた。
- ◇ 使用頻度の高い語句を簡略表記してあるものは元の語句で表記した。
例：a u → ああいう
K-s-no → 神様の
xtian、Xn → クリスチャン
a-. → ある。あります。
om-su.、om-s. → 思います。 などなど

- 用字、用語については原文に従った。
- 文中には、明らかに思い違いと思われるものもあったが、文中で主要な語句は改めなかった。
- 讃美歌は当時の表記を使用した。
- 聖書の引用は原文に拠った。

クレアランス・シャーマン・ジレット・年譜

<p>1894年9月20日、米国カリフォルニア州南パサディナの典型的なピューリタン一家に生まれる。 父の希望によりハーバード大学で法律を修めるが、第一次世界大戦では海軍を志願し士官学校で訓練を受けるなど、法律家の道を歩み出すことはなかった。大戦終了とともに除隊。 1920年、マリオン・マゴンと結婚。 1921年、コロンビア大学宗教教育学科(MAの学位取得)とニューヨークのユニオン神学校を卒業。在学中に海外での宣教に使命を見いだした。</p>		
年 月		タイプライターは語る
1921年	アメリカン・ボード (米国伝道会社。以下「ボード」) の派遣により来日。	
21～23年	東京で日本語を学ぶ。 この間、マリオンが小児麻痺を発病。また、第一子を失う。	
23年	関東大震災に遭遇し、救援活動にあたる。 このため松山派遣の予定が変更される。	
24～35年	仙台にて、バイブルクラスやクラブ活動を通じ、青少年の指導にあたる。	
25年	ドナルドを養子とする。	
27年	マリーを養女とする。	
28～34年	松山女学校(現松山東雲学園)理事。	
31年	第二子キャロル誕生。	
35年	一時帰米。コロンビア大学教育学博士の学位取得。	
36～41年	同志社の招聘を受け、同志社高等商業高校(京都)で英会話・宗教教育を担当。	
37年	日中戦争勃発。	
38年	ドナルド、白血病で死去。同志社墓地にジレット家の墓を作り納骨。	
40年	日米関係が不穏になり、マリオンがマリーとキャロルとともに本国へ送還される。	
41年	日米開戦により、やむなく帰米。	
41～45年	西海岸の在米日本人収容所にて活動。	
45年	松山大空襲。終戦。	
45～48年	トラック島にて、南洋諸島の教会や学校のための復興支援活動。	

47～50年	ホイテ元校長来松し、家政館地下に住んで戦後の学園復興に尽力。また、今後の学園を託す人物をボードに要請する。	
49年6月17日	再度、ボードの派遣により来日。船上にて、松山東雲中高から校長就任の要請があることを知らされ、即座に受諾、無線電話で学校へ返信する。	
6月24日	松山東雲中高に到着。	
8月	ボードが校内に再建した宣教師館(「みつばハウス」)に入る。以後、生涯ここを住まいとする)	
9月	松山東雲中高第六代校長に就任(理事長を兼務)。 「みつばハウス」でバイブルクラスを始め、女学生や松山教会の青年が参加する。	
11月	ジレット夫妻歓迎式。	
49～51年	莫大な私財を投じて、ピアス館・家政館・体育館を建築、落成。 キリスト教教育の理念を明確にしたいと考え、校門に校訓を刻む。 (「高遠なる理想・敬虔なる信仰・真摯なる努力・清純なる愛情・私心なき奉仕」 "Let only the Eager, Thoughtful, Reverent enter here." "And go forth prepared to serve God and thy neighbours.")	
50年	松山教会にて、英語礼拝を始める。市内各所にて、バイブルクラスを開く。	引越しの理由 杯の中の血 人を審く 家政館礎式 生徒会の憲法 アセンブリー・アワー ホイテ先生の話
51年	生徒会主導による「無監督制試験」が初めて実施される。	ほしいものを 選んで払う 気落ちせず 「コルバン」 責任を果たす 見える目 見えることは 砂から真珠 祈り(1)、(2) 教育方針について

51～54年	同志社の理事を勤める。	
52年	マリオンがみつばハウスで行っていた料理・手芸の講習会をきっかけに、「カレッジ」が設立される。	主の祈り 心を変えて 大人に成長 クリスチヤンの生活は輪であります バザーの感謝 洗礼を受けた時 力が与えられてくる
53年	学寮建築(「めぐみハウス」)	寄宿舎の式辞 創立記念日 時間を使うこと ビタミンのたとえ
54年	一時帰国し、諸教会を訪問。(支援への感謝・学校教育の報告・さらなる援助要請)しかし、3ヶ月後脳出血で倒れ、半身不随となり、ボストン郊外で静養に入る。渡日を禁じるボードに対し、帰校を熱望。ボードは熱意に負け、後任校長を選定するという条件付きで渡日を許可。	絶えず祈る
55年9月12日	夫妻で帰校。みつばハウスでヒューステッド宣教師とともに暮らす。	
56年	松山教会の新会堂建築に際して、資金援助を行う。	信じることとすること 自分の利益を 求めない
同年	生徒会が無監督制試験・パンの無人販売などにより「優良高校生徒自治会」として県から表彰される。	使命の自覚 一生懸命すること COMMUNITY SPIRIT 就職について 新しい世界
57年	YWCAの発案で、野外礼拝堂(「グリーンチャペル」)を作る。	学園の伝統を守る BY THEIR FRUITS
57年	カレッジ館を建築、栄養学院を設置する。	神の愛について 職員の聖書
58年	多年の教育への功績により、勲五等双光旭日章を受ける。	愛と意志 主に従うこと

59年		道は一つ I PLUS YOU お医者さんを呼んで 見えない精神の働き 宗教教育について 十二月という月 残念を無くす
60年	アッケンバック宣教師が着任し、みつばハウスとともに暮らす。	狭い門から入れ 神と共にある生活 神から愛されて いる生活
61年4月	学園が名誉校長の称号を贈る。二宮源兵氏が第七代校長に就任。	自分の重荷・収容力 さようなら 75周年記念式兼 ジレット館献堂式
61年5月27日	ジレット記念館落成式(1階調理室、2階食堂兼大教室、3階生徒会センター)。ジレット夫妻にとって教職員との最後の集いとなる。	
6月12日	みつばハウスにて、マンデー・イブニングの英語セミナーが始まる直前、ソファーに座っていて落としたステッキを拾い上げようとかがんだその姿勢で倒れる。	
6月17日	午後9時5分召天。66歳	
6月20日	学園葬が行われ、約2,000人が参列。遺骨は、松山教会の納骨堂と京都のジレット家の墓に納骨。	
7月17日	勲四等瑞宝章が贈られる。	
7月20日	マリオン、帰国の途につく。ジレット葬儀に寄せられたものはすべて奨学基金として学園に寄付(後の「ジレット奨学基金」)。	
80年	マリオン召天。遺言により、松山教会の納骨堂と京都のジレット家の墓に納骨。	
81年	学園は、ジレット家の墓を京都から松山の「道後聖墓苑」へ移す。 学園では、毎年ジレットの召天日である6月17日に記念礼拝を守り、ジレット奨学生に奨学金を授与し、放課後に墓参をしている。	

参考文献

日本聖書協会「聖書」文語体 (1952年版)

日本聖書協会「聖書」口語体 (1985年版)

日本基督教団讃美歌委員会「讃美歌」(1948年版)

日本基督教団讃美歌委員会「讃美歌」(1954年版)

教文館「キリスト教大辞典」(1963年)

教文館「キリスト教歴史大事典」(1988年)

日本基督教団出版局「キリスト教人名事典」(1986年)

新潮社「世界の歴史と文化 中国」陳舜臣・尾崎秀樹 監修 (1993年)

朝日新聞

愛媛新聞

eChurch Japan (<http://echurch-jp.com/>)

新教出版社「タイプライターは語る」(東雲四季ごよみ) (2003年)

松栄印刷所「のこされた杖」復刻版 (2007年)

松山東雲学園百年史編纂委員会「松山東雲学園百年史(通史編)」

(1994年)

喜びの人生刊行会「喜びの人生—愛媛のクリスチャン群像—」(1999年)

Gillett's Notes

発行日：2015年6月17日

(ジレット先生逝去記念日)

企画編集発行：松山東雲中学・高等学校

ジレット編集委員会

〒790-0814 愛媛県松山市大街道3丁目2-24

松山東雲中学・高等学校内

Tel 089-941-4136 / Fax 089-931-4973

郵便振替口座 01640-3-14214

<http://www.shinonome.ac.jp/>

編集委員：

伊神 美和子・篠浦 千史・高尾 哲(故人)・

中村 治・益田 明美 (50音順)

©2015 松山東雲中学・高等学校 ジレット編集委員会